

事業所名

スマートキッズソリス行徳(放課後等デイサービス)

## 支援プログラム

作成日

2025年

1月

29日

法人(事業所)理念		教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが主体的に課題に取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。</li> <li>社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスモールステップで設定し、成功体験に繋げる。</li> <li>地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。</li> </ul>						
営業時間		10時0分	から	19時0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容								
支援方法		個別課題			集団・小集団課題			
本人支援	健康・生活	食具、筆記具等生活で使用する物の練習 生活スキル獲得のための食具の操作や道具操作などの課題 災害時の対応を身に着ける課題			清潔への理解と習慣のための清掃活動(ぞうきんの使用、ほうきの掃き方、ロッカーやカバンの中の整理等) 自立した生活を送るための買い物学習 危険個所の理解や災害時等に関する避難訓練の実施			
	運動・感覚	視空間認知の発達や目と手の協調性ためのビジョントレーニング課題 身体全体の機能向上のための粗大運動(例:ハードル、サーキット運動等)の課題 指先の機能の向上のための微細運動(例:洗濯ばさみ、プットイン等)の課題			指先の感覚や操作に関わる活動(粘土、紙やぶき、箱の中身はなんだろう?等) 指先の操作や巧緻性のための微細運動(製作等) 体幹や姿勢保持・ボディイメージの形成のための活動(バランスボール、平均台等)			
	認知・行動	見通しを持つことで安心して過ごせるようスケジュールや構造化への理解の課題 知覚や認知に関わる色や図形を用いた課題(マッチング等) 物の上位概念理解を促す活動(仲間分け)			金銭の理解に関わる活動(お買い物練習、金額当てクイズ等) 色や図形を用いた活動(ブロック、パズル等) 空間把握の認知形成に関わる活動(パズル、ブロック遊び等)			
	言語・コミュニケーション	文字や文章の読み書きの理解のための課題 コミュニケーションスキルの獲得・向上のための(指差し、身振り、サイン等)の課題 文字・記号、絵カード等の適切なコミュニケーション手段を活用するための課題			文字やイラストを用いたコミュニケーションの活動(かるた、絵しりとり等) 口頭以外でのコミュニケーションの練習活動(ジェスチャーゲーム、手話、絵カード等) 人との相互理解のコミュニケーション活動(他児・指導員に関する〇×クイズ等)			
	人間関係・社会性	社会でのルール理解や他者との関わりに関する課題(SST) 生活場面で必要な場面理解や他者の感情理解の課題(SST) 適切な距離感や丁寧な言葉への理解に関する課題			社会性の向上のための活動(SST、ルールを守って協力ゲーム等) 集団の中での順番、工程を守るための活動(よく聞いてやってみよう、順番にできるかな) 複数の利用者同士の適切な関わり方の理解のための活動(貸し借り、勝ち負けのあるゲーム等)			
家族支援		保護者のみならず、家族全体と本児の関係性に加えて、家庭での困りごとについて整理をし、実際の様子を家庭訪問や口頭で共有を行う事で、その都度有効な対応を検討し、提案していく。  保護者との面談や支援内容の共有の時間を通して、発達段階における基本対応や特性に関する基本情報の提供を行い、家庭で可能な適切な対応に関して助言を行う。			移行支援		本事業所以外でも同様に取り組めるように支援の方法を共有する。  当事業所で作成の個別支援計画を他機関と共有し、課題として取り組んでいることを日常で実践できるように支取り組むことで、利用者に対する支援の統一を図る。	
地域支援・地域連携		各種関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有することで、日常的な生活や支援に活用するための具体策を提案する。  学校での課題を確認したうえで、それに合わせた本事業所での対応を他機関に連携することで、実践的な支援に繋げる。			職員の質の向上		経験年数別の階層別療育研修・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策防止研修等の実施。 心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の定期実施。	
主な行事等		避難訓練(火事、地震、水害、防犯等)、調理活動(フルーチェ作り)、療育参観、その他						